

「東海地域デジタル化推進セミナー」を開催

<IoT活用・デジタル化推進による地域課題の解決をめざして>



長塩局長による開会挨拶



内閣官房 木村内閣参事官



一宮市 中野市長



四日市市 森市長

総務省東海総合通信局(局長 長塩 義樹(ながしお よしき))は、令和3年2月9日、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰(いわた あきら)名古屋工業大学名誉教授)及び東海地域デジタル化推進フォーラムとの共催により、「東海地域デジタル化推進セミナー」を開催しました。セミナーは、Web配信により行われ、全国から280名の聴講がありました。

本セミナーは、本年1月14日に東海地域におけるデジタル化の推進にむけて、国、地方公共団体、大学、経済界・産業界等で発足した「東海地域デジタル化推進フォーラム」の設立を記念し開催したものです。

はじめに東海総合通信局・長塩局長から「関係機関の相互の連携を通じて東海地域のデジタル化の推進にむけて取り組みを進めていきたい」との挨拶で開会しました。

その後、内閣官房・木村 公彦(きむら きみひこ)内閣参事官から「デジタル化に向けた動向と政策課題」を、一宮市・中野 正康(なかの まさやす)市長から「一宮市における自治体DXの取り組み」を、四日市市・森 智広(もり ともひろ)市長から「四日市市が目指すデジタル化」を、岐阜県IoTコンソーシアム・松島 桂樹(まつしま けいじゅ)理事長から「地域と企業を活かすDX」を、それぞれ講演頂きました。

講演では、国・自治体のデジタル化推進の動向と、IoT活用・デジタル化による地域課題の解決に向けた自治体及び産業界の取り組みが紹介されました。

講演後は、NICT・畠中 幸一(はたなか こういち)イノベーションコーディネータから産学官・地域との連携推進など、デジタル化に貢献するNICTの取り組みの案内があり、最後に、東海情報通信懇談会・安田幹事長から、「東海地域のデジタル化推進をめざしたフォーラムの発足は極めて意義深いもの。産学官連携によりDXを推進していくことを期待」との全体のまとめと挨拶により閉会しました。



配信会場の模様



岐阜県IoTコンソーシアム
松島理事長(ビデオレター)



情報通信研究機構(NICT)
畠中イノベーションコーディネータ



東海情報通信懇談会
安田幹事長による閉会挨拶